

お知らせ

当院では「造血器疾患における赤血球輸血閾値の観察に関する研究」を施行しています。

【本研究の概要】血液製剤の使用に対しては、「血液製剤の使用指針」がその使用基準を示していますが、患者さんの状態により勘案する必要性についても記載しています。造血器疾患により赤血球輸血を行った患者さんがどのような判断でどのような状態の場合輸血を受けてみえるのかは実態が調査されてきませんでした。また輸血をどの段階で行うのが良いか、は急性出血の患者さんを対象として行われたものが殆どで慢性的な貧血の方などにどのように輸血が行われるのが良いのかはあまり調査がありませんでした。今回、特定の1カ月間、全国の病院で造血器疾患により赤血球輸血を受けた患者さんを調査し、慢性的な貧血状態において輸血がどのように行われているのかを調査します。

【本調査の意義】「血液製剤の使用指針」と使用実態が合わない場合、その原因を顕かとする必要性が分かります。そこから「血液製剤の使用指針」改定の必要があるかも分かります。

【研究参加施設】全国の大学病院輸血部に協力が求められています。

【方法】2015年2月の1カ月間に当院の血液内科で造血器疾患により輸血を受けた方の診療録、検査データ、輸血記録を調査します。その中には、性別・疾患名・年齢・輸血を受ける前の血算データ、治療内容などが含まれますが、これらのデータから直ちに患者さん個人が特定できるデータは含まれません。データは、さらに匿名化し当院の機密保持能力が高い場所で保管されます。当院以外のデータも全国から群馬大学医学部附属病院輸血部に送られ、同院が中心となり解析が行われます。

【研究に自分が対象になっているかを知る方法（開示の方法）】

いずれも本院の研究責任者に問い合わせることで可能です。

【研究に協力をしたくない場合の方法】

皆さんの受け持ちの先生にそのご希望をお伝え下さい。血液内科の看護師さんでも結構です。

あるいは、下記の連絡先にご連絡頂き、本院の研究責任者にお伝え下さい。

ご希望の方のまとめられたデータを廃棄いたします。

但し、既に群馬大学に送付され、まとめられたデータから排除することが出来なくなった場合は廃棄できません。

【本院の研究責任者】血液内科 輸血部 長谷川雄一

【連絡先】月曜日から金曜日 9:00～17:30

筑波大学附属病院 代表 029-853-3900 からお呼び出し下さい。

【研究全体の責任者】自治医科大学 輸血細胞治療部 室井一男

【研究事務局とその責任者】群馬大学附属病院 輸血部 横濱章彦